

製品名	サトウ椿 精製カメリア油 SATO TSUBAKI REFINED CAMELLIA OIL		
名称	精製カメリア油		
原材料名	ユチャ油		
原材料の由来	<p>ユチャ油 [Camellia Oleifera Seed Oil]</p> <p><定義> ユチャ(<i>Camellia Oleifera</i> Abel (<i>Theaceae</i>))の種子から採取した油であって、化粧品の原材料として適するように処理したものである。</p> <p><起源> ユチャは中国の長江以南に広く分布している、ツバキ科(<i>Theaceae</i>)ツバキ属(<i>Camellia</i>)サザンカ節(<i>sect. Oleifera</i>)の植物である。産業界では、2000年頃までユチャをトガリバサザンカ(<i>Camellia Kissi</i> Wallich (<i>Theaceae</i>))と誤認していたので、ユチャ油をサザンカ油(<i>Camellia Kissi</i> Seed Oil)として扱っていた。ユチャの渡来は1930年頃の採油用種子の輸入に始まる。今日、ユチャ油はツバキ油(<i>Camellia Japonica</i> Seed Oil)の代用として確かな地位を築いている。</p> <p><採油と精製> ユチャの種子を圧搾して採油するときに発生した残滓の搾り粕から食用溶剤であるノルマルヘキサンを用いて採油する。日本に輸入した原油は、化粧品の原材料に適するよう精製(脱ガム、脱酸、脱色および脱臭)し、製品化する。</p>		
旧化粧品原料基準	定めなし	旧化粧品種別 配合成分規格	定めなし
有機JAS	認証なし	内容量と荷姿	16.5kg/缶
品質保持期限	製造日から2年	外観	淡黄色澄明な液体
特徴	<p>一価不飽和脂肪酸であるオレイン酸を主成分(全脂肪酸の約80%)とする脂肪油である。融点が高いステアリン酸等の飽和脂肪酸の含有率が全脂肪酸の約10%と低いため、低温下でも結晶が析出しにくい(0℃、5時間30分清澄)。なお、抗酸化性に難のある不飽和脂肪酸の含有率が全脂肪酸の約90%あるにもかかわらず、リノール酸等の多価不飽和脂肪酸の含有率が全脂肪酸の約10%と低いため、他の植物油と比較すれば酸化安定性に優れた植物油であるといえる。また、オレイン酸含有量の多い植物油であることから、その含有量を推定することができる指標のヨウ素価が85前後と極めて低く、全ての植物油を代表する天然の不乾性油という確固たる地位を築いている。</p>		
主用途	化粧品および皮膚保護用製品等の配合基剤等		
特記事項	<p>本製品の原材料はユチャを由来とする種子油であるが、当社では、「ツバキ、サザンカ、チャ等のツバキ属植物群(<i>Camellia</i>)から採取した種子油を化粧品の原材料に適するよう処理し、当社の定める品質規格を満たしたカメリア油(<i>Camellia</i> Oil)」を「精製カメリア油」と命名し、製品の名称等に使用している。</p>		

本書は2015年3月23日、採油法を圧搾法から抽出法へ変更したことにより改訂しました。